



ず

いぶん前、古い山の友人から山の古木だけを売る店が京都大学近くにあると聞いていた。それを思い出し、8月3日、36℃の猛暑なか、その「軟弱古書店」を訪ねてみた。

いかにも山ヤの匂いする店名だったが、私の脳裏にもすっかり刻み込まれており、いと簡単に所在を突き止めることができた。営業日が限定されていると聞いていたので電話を入ると、すぐに「お待ちしています」という返事がかえってきた。

京阪電鉄・出町駅から201系統バスに乗り、近衛通バス停で下車。近衛通りを東進しテニスコート角で左折すると、200mほど左側に「白亜荘」という洋館建てアパートがある。京都大学吉田寮の真裏に位置する、この2階25号室がお目当ての店である。道本案内私のおため、店主の中山幹彦さんが建物の前に出て、持ってきた。「山の本を通じて山の魅力を



軟弱古書店

京都府京都市左京区吉田二本松町4-3白亜荘25号室
☎050-3743-3545
営業時間・定休日：不定休
(ウェブサイトで確認のこと)
<http://yamanohon.jp>



アパートの一室が古書店となっている

「古書店②」

軟弱古書店

〈京都府・京都市〉

小島隆雄・数村・文・写真

〈中山さん
おすすめめの1冊〉



『登山の小事と用具の
実用』
西岡一雄 著
朋文堂 / 1958年

「明治から戦後の日本山岳の歴史書。ところが著者の手にかかると興味な読み物になります。しかも登山史に忠実で、出典もわかりやすい。岡部一彦氏の挿絵も素晴らしいです」



書店員が
おすすめ
「山の本」



店主・中山幹彦さん

山麓の本が店主の自撮り